
遊戯王『何にでも出会ってのはあるものだ!』

鈴木

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王『何にでも出会いつてのはあるものだ！』

【Nコード】

N8332T

【作者名】

鈴木

【あらすじ】

やっとまともなデッキを手に入れた鈴木。

このデッキから全ては始まった！

このときは大変だった…。(前書き)

皆さんはじめまして、こんにちは。

グツダグツダ&ガツタガタな小説(?)を書くのに早くも定評のある
鈴木です！

皆さんの暇つぶしになればと思います。
どうぞよろしくお願いします。

このときは大変だった…。

友達D

『おい、鈴木、そろそろ行くぞお。……おいつ鈴木!』

鈴木

『おうつ!? ……何だよD。』

見入って聞こえなかったのか、俺は友達Dの声に肩が跳ねる。

D

『おつ、なんだ鈴木、そのデッキ買うのか?』

鈴木

『ああ、まあな。…お前は?』

D

『ん〜、特にねえかな? ……にしても、おまえがコレをねえ。』

デッキを見たあとに、俺の顔を見て、シヨーケースにある他のデッキを見る。

D

『どうせならこっちの剣闘獣にしたらどうだ? ……こっちの方が結果残してるぜ。』

シヨーケース内の剣闘獣とマジックでかかれたデッキを指差しながら提案する。

『いや、やっぱりこっちかな、…ほらっ、このデッキと俺のイメージってピッタリだろ!(キリッ)』

『…………。』

この沈黙は、『うん、凄く似合ってるぞ!』 っと言う沈黙だと、俺は信じしてる!

移動

友達U

『へえー、お前ライトロードのデッキを買ったのか。』

大会を行った店で、早速さっき買ったデッキを開いてみる。

友達Uは『ふ〜ん』と良いながらデッキをみる。

すると横から友達Aが『ちよつと仮して』と言い、Uが見ていたデッキをヒョイと取り上げる。

U

『ってゆーか、なんでライトロードなんだ? 他にもあったんだろ、剣闘獣とか次元帝とか。』

鈴木

『いやあ、何でってそりゃあ…。』

一呼吸おき軽く咳払いし、口を開く。

『ライロと俺のイメージって、ピッタリじゃね?』

U & A & D

『なに言ってたんだ、バカかおまえは。』

鈴木

『わざわざ八モんなくてもいいだろチクショー!!』

三人同時の連携プレーに涙がでそうだった。

ハーピイレディ三姉妹でも、流石にここまでの連携は無理であろう。

D

『てゆーか鈴木、お前ライロ（短縮名）使い方知ってるのか？』

鈴木

『……ダイジョウブだ、モンダイナイ』

U

『問題無いならせめてカタコトは止めようぜ。』

A

『てゆーか、使い方わからないんならなんで買ったんだよ？』

素朴ながら痛いところをついてくる友達A、まさか選んだ理由が単に『格好いいから!』なんて言えねえし……。

『いやっ!だからさっ、ライロとおれのイメー……』

A & U & D

『なに言ってるんだ、バカかお前。』

鈴木

『連携プレーやるなどは言わないから、せめて話は最後まで聞いてからにしてえっ!!』

この後、友人達にライトロードの使い方を教えてもらった鈴木であった。

このときは大変だった…。(後書き)

さて、やっとメインデッキの基礎、ライトロードが手には入りま
したよ。

今思えばあの時は色々大変でしたねえ、そう、あれはまだ俺が(以
下略)

というわけでみなさん、今後とも、生暖かい目で見てくれれば幸い
です！

(ペコリ)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8332t/>

遊戯王『何にでも出会ってのはあるものだ!』

2011年10月9日08時10分発行